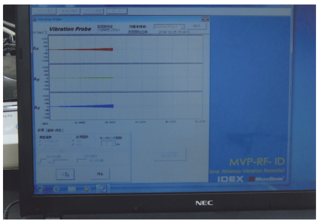
贈答用高級フルーツの緩衝材及び
ギフトボックスの試作開発

2014年７月栃木市新製品開発補助事業により、苺のパッケージに取り組み始め、７月～10月の約４ヶ月間、緩衝部材の調査そして選択に入り、EVAやAZOTE、エバフォーム等で食品に使えるものを探し求めた。それと同時に同年７月末より栃木県農業試験場いちご研究所の協力を得て、振動実験機によりトラックの走行を振動解析し、約半年間実験を繰り返し、試作開発にあたった。その結果、二重フラップ構造により苺を傷めず保持できるパッケージが完成した。

意匠登録第1541808号　果実用包装容器
意匠登録第1541809号　果実収容トレイ
特許出願中

2014年7月25日㈮
AM10:00~
栃木県農業試験場
いちご研究所にて



輸送トラックの荷台で発生する振動上下、左右、前後の振動を発生させ、輸送時の損傷度合いの検証をする。

市販のパッケージ
ホールトレイ
上部にエアキャップを入れて押える

振動実験前

振動実験後
バラバラに躍っている

弊社のパッケージ
８カットトレイ
上部にエアキャップを入れて押える

振動実験前

振動実験後
躍りはまったく見られない